

本 会 記 事

I. 平成 29 年度第 2 回評議員会議事録

日 時：平成 30 年 3 月 24 日（土）15:00～17:30

場 所：神戸国際会議場 403 室（〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島 6 丁目 9-1）

出席者：

秋光和也，青木孝之，有江 力，曳地康史，廣岡 卓，一瀬勇規，石黒 潔，岩井 久，景山幸二，川北一人，児玉基一朗，近藤則夫，窪田昌春，桑田 茂，眞岡哲夫，増田 税，守川俊幸，中島 隆，中屋敷均，夏秋啓子，根岸寛光，大木 理，大島一里，佐野輝男，佐藤豊三，高橋英樹，高橋賢司，高松 進，竹下 稔，瀧川雄一，土佐幸雄，土屋健一，津田新哉，柘植尚志，月星隆雄，對馬誠也，吉川信幸，金山晋治，夏秋知英会長，久保康之副会長，平塚和之庶務幹事長

以上評議員 41 名（定員 53 名，欠席者：阿久津克己，荒瀬榮，濱本 宏，平八重一之，北 宜裕，仲川晃生，難波成任，奥野哲郎，寺岡 徹，宇垣正志，渡邊 健，長谷川裕）

幹事・事務局出席者：鈴木文彦庶務副幹事長，山内智史庶務幹事，古谷綾子会計幹事，染谷信孝庶務幹事，西川尚志副会計幹事，渡辺玲子事務局員

開会の挨拶（夏秋会長）

- ・法人化に必要な社員選出システムについて総会承認が必要であることから，次回の評議員会での承認事項とし，法人化が 1 年遅れることが説明された。

1. 第 1 回評議員会議事録の確認（染谷庶務幹事）

- ・評議員 ML で確認後，幹事会にて保存済であることが報告された。

2. 審議事項（議事進行：夏秋会長）

(1) 平成 30 年度日本農学進歩賞および日本学術振興会賞候補者の選定（夏秋会長）

- ・平成 30 年度日本農学進歩賞に松下陽介氏，日本学術振興会賞候補者に小松健氏を推薦することが承認された。
- ・有志賞については，推薦依頼を受け付けていることが説明された。

(2) 平成 30 年度定期総会資料の検討

- ・下記，総会資料内容について説明され，承認された。

1) 平成 29 年度会務報告

①庶務報告（山内庶務幹事）

②会計報告（古谷会計幹事）

- ・未払金，預かり金，固定資産等について説明された。

③会計監査報告（根岸会計幹事）

④学会編集報告（川北編集委員長）

⑤その他

- ・なし

2) 平成 30 年度会務案

①行事案（染谷庶務幹事）

②予算案（西川新会計幹事）

- ・事業収入，事業活動支出，ACPP 関連費等について説明された。

③学会報編集計画案（秋光編集委員長）

- ・事務局が香川大学に変更されたことが報告された。

- ・平成 30 年度の学会報編集計画が説明された。

- ・IF が低下していること，IF 値向上に向けて，Review を依頼予定であることが説明された。

- ・DOI (Digital Object Identifier) Publish を目指すことが説明された。

④その他（夏秋会長・久保副会長）

- ・総会資料 p. 16，国際植物病理学会 Forest Pathology および Seed Pathology については日本における該当メンバーが不在であることが説明された。

- ・AASPP Vice President 欄に新会長の久保康之氏が承認された (II. 6. 承認事項)。

- ・第 1 回評議員会議事録に基づき，法人化検討委員会を発足したことが説明された。常任評議員の元でスケジュール，会員周知等の実務担当者として，将来問題検討委員会のメンバー入れ替えが説明された。

- ・教育プログラム推進委員会について，委員の入れ替えが説明され，平成 30 年度開催地（北海道），平成 31 年度開催地（関西）が説明された。また，平成 32 年度担当地区である関東地区で ACPP2020 が開催予定であることから，負担軽減のために担当変更することが提案され，了承された。

質疑事項：

- ・会計報告における取り崩し金について質問があり，学会事務局の手元現金であることが説明された。

- ・総会資料の議題に法人化検討委員会が上げられていない点について質問があり，その他事項で説明予定であ

ることが返答された。

(3) 平成31年度大会開催場所および日程の承認

- 平成31年度大会をつくば国際会議場（つくば市）で開催することが承認された。

(4) 平成32年度大会開催ブロックの確認

- 平成32年度大会を九州地区で開催する予定であることが承認された。

(5) 会計マニュアル（案）について（古谷会計幹事）

- 平成29年度会計報告の個別案件について説明があり、今後の各集会および委員会等への学会補助金の交付について、マニュアル（案）にもとづく予算案を提出することが説明され、承認された。本マニュアルは毎年度、内容更新されることが補足された。

質疑事項：

- 大会時の賛助会員に係る経費について質問があり、対処方法について議論され、今後の検討事項とすることが確認された。

(6) 2020年第8回アジア植物病理学会議（ACPP2020）の開催について（夏秋会長）

- 常任評議員および国際化対応委員会によるメール会議を行ったことが報告された。

①AASPP 副会長については、久保康之氏が推薦され、承認された。

②ACPP2020 について、2020年9月に関東地区で開催予定であることが提案され、承認された。IYPH2020、農水省と協力することが報告された。

③組織委員会として、北関東地区常任評議員の津田新哉氏を組織委員長、南関東地区常任評議員の有江力氏を副組織委員長、平塚和之氏を幹事長とすることが提案され、承認された。

④IYPH2020/ACPP2020 における農水省および関連団体との協議内容について説明され、農水省における窓口が植物防疫課国際室であること、プログラム委員会を全国対応で立ち上げること、韓国の Yong-Hwan Lee 先生に報告予定であること、学会 HP に ACPP2020HP を作成予定であること、日韓シンポジウムの開催、今夏のボストンで宣伝予定であることが報告された。

質疑事項：

- ACPP2020 に各談話会を共催する予定について質問があり、組織委員会が検討することが返答された。
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催期間との調整について質問があり、パラリンピック閉幕後の9月下旬を予定していることが返答された。
- 各部会の開催予定との調整が必要であることが質問さ

れ、合同開催、変更等の可能性について返答された。

- ACPP2020 予算について質問があり、Springer との JGPP 新契約により予算が捻出できたこと、開催内容を華美にはしないこと、外部資金の獲得が重要であること等が返答された。

(7) 会則・規定の改正について（平塚庶務幹事長）

- 会則に100周年基金が残っていることから、これを削除し、ACPP2020 基金を設定するために会則・規定の改正が必要であることが説明され、承認された。

(8) その他

- アジア植物病理学会（AASPP）の Vice President に久保康之氏が推薦され、承認された。

質疑事項：

- 会則・規定の改正について付則の必要性について質問され、その必要性について説明された。

3. 報告事項

(1) 学会報編集委員会報告（川北編集委員長）

- 平成29年度日本植物病理学会英文誌（JGPP）・和文誌（JJP）の編集報告がなされた。資料における原稿数の合計は後日、訂正されることが説明された。
- 海外から投稿された JGPP 原稿の相当数で投稿規定が遵守されていないことが多く、受理率も低い傾向であることが説明された。
- IF の向上を目指すために、過去2年間の論文引用を呼びかけること、Review の投稿依頼を予定していることが説明された。
- 2016年度の IF は約1.2であったが、2017年は0.732に低下することが報告された。
- 和文誌の投稿掲載料を見直すことが報告された。

(2) 病名委員会報告（窪田病名委員長）

- 病名委員会の開催報告が説明された。
- 2017年度は7月に2017年度版病名目録を更新し HP に掲載したこと、10月に新旧対応表を更新したこと、2018年1月にうどんこ病総説に対応した新旧対応表を更新したことが報告された。
- 委員が1名交代することが報告された。
- 農研機構遺伝子資源センターの病名データベースを介して、誤記載の指摘があり、対応したことが報告された。
- 2018年度版病名目録を4月に HP 掲載予定であることが報告された。
- 宿主植物について、これまでは園芸学会用語集に準拠していたが、Plant list 基準へ変更予定であることが説明された。

- (3) 国際化対応委員会報告（夏秋委員長）
 - ・ Australasian 交流事業について、2017年と2018年の派遣受け入れ年を調整し、今年度は名古屋大学の今野紗弥香氏（指導教員：竹本大吾准教授）を派遣予定であることが説明され、承認された。
 - (4) 技術士対応委員会・5学会技術士推進委員会報告（桑田委員）
 - ・ 技術士対応委員会（平成29年9月4日開催）および5学会技術士育成推進委員会（平成30年1月30日開催）について内容報告された。
 - ・ 技術士の試験改正により、二次試験科目が全体で96から69に減少、農業部門も7科目から5科目に減少することが報告された（植物保護科目は残っている）。
 - ・ 今年度、技術士として9名が合格（うち植物病理学会会員は6名）し、累計122名となったことが報告された。
 - ・ 3月26日に技術士試験対策セミナーが予定されていることが報告された。
 - (5) 日本農学会報告（平塚庶務幹事長）
 - ・ 平成30年度日本農学会評議員会（1月26日開催）について内容報告がなされた。
 - ・ 任意団体としての日本農学会が解散し、一般社団法人日本農学会が設立されたこと、会員および資金が移行されたことが報告された。
 - ・ 社団法人として、社員総会が開催され、会長＝代表理事に、その他、理事および監事など、法人化に伴う体制変更がなされたことが報告された。
 - (6) 会員の逝去について
 - ・ 総会資料に記載されている5名の会員の逝去が報告された。
 - (7) その他
 - ・ 有江評議員から2019年に第19回国際植物保護会議がインド・ハイデラバードで開催予定であること、および国際植物保護会議の北アジア運営会議が東京農業大学で開催されたことが報告された。
4. 平成30年度大会委員長挨拶（土佐大会委員長）
- ・ 平成30年度大会の開催について挨拶がなされた。
5. 平成31年度大会委員長挨拶（中島評議員）
- ・ 平成31年3月18～20日につくば国際会議場（つくば市）で開始予定であることが報告された。

II. 平成30年度定期総会

平成30年3月25日に神戸国際会議場（〒650-0046兵

庫県神戸市中央区港島6丁目9-1）において開催された平成30年度定期総会において、以下の議案がいずれも承認された。

II-1. 平成29年度会務報告

1. 庶務報告

(1) 会員数 計1,861名（平成30年1月1日現在）
 名誉会員35名／永年会員69名／正会員1,246名（内外国会員17名）／学生会員266名／学部生会員22名／準会員119団体／賛助会員40社（104口）

(2) 会員のご逝去

山下修一氏	平成29年5月20日
尾崎武司氏	平成29年6月22日
梶原敏宏氏	平成29年7月30日
久原重松氏	平成29年7月30日
大谷快夫氏	

(3) 学会報編集データ

発行部数	英文誌：第83巻1～6号	各1,850部	(計11,100部)
	和文誌：第83巻1～4号	各2,000部	(計8,000部)
頒布部数	英文誌：国内（1～6号）	各1,636部	(計9,816部)
	国外（1～6号）	各71部	(計426部)
	計	各1,707部	(計10,242部)

[内 国外交換39／国外寄贈5／名誉会員33／永年会員10／賛助会員61／準会員120／（計268）]

	和文誌：国内（1～4号）	各1,806部	(計7,224部)
	国外（1～4号）	各58部	(計232部)
	計	各1,864部	(計7,456部)

[内 国内交換5／国内寄贈8／広告主6／名誉会員33／永年会員66／賛助会員61／準会員120／（計299）]

(4) 役員会・委員会開催状況

第1回評議員会	平成29年11月11日
第2回評議員会	平成30年3月24日
幹事会	平成29年5月13日
	7月15日
	9月9日
	11月11日

- 平成30年 1月20日
2月17日
3月24日
編集委員会 平成29年 4月25日
賞選考委員会 平成29年 9月 9日
功績者推薦委員会 平成29年10月 2日
選挙管理委員会 平成29年11月 9日
病名委員会 平成29年 4月26日
学会ニュース編集委員会 平成29年 4月27日
教育プログラム推進委員会 平成29年 4月28日
技術士対応委員会 平成29年 9月 4日
5学会技術士育成推進委員会 平成30年 1月30日
- (5) 総会・大会開催状況
総 会 平成29年4月26日
マリオス (盛岡市)
大 会 平成29年4月26~28日
マリオス/アイーナ・岩手県民情報交流センター (盛岡市)
参加者: 805名, 一般講演: 350題
- (6) 部会開催状況
北海道部会 平成29年10月19~20日
北海道農業研究センター本所(札幌市)
参加者: 88名, 一般講演: 17題,
談話会講演: 4題
東北部会 平成29年9月28~29日
弘前大学農学生命科学部(弘前市)
参加者: 84名, 一般講演: 30題
関東部会 平成29年9月22~23日
横浜国立大学(横浜市)
参加者: 166名, 一般講演: 35題,
特別講演: 1題
関西部会 平成29年9月19~20日
大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(堺市)
参加者: 258名, 一般講演: 83題
九州部会 平成29年11月8~9日
沖縄県立博物館・美術館(那覇市)
参加者: 約100名, 一般講演: 37題,
特別講演: 2題, シンポジウム講演: 3題
- (7) 談話会・研究会・教育プログラム等開催状況
第17回植物病原菌類談話会:
平成29年4月28日
アイーナホール(盛岡市)
参加者: 127名, 講演題数: 3題
第27回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム:
- 平成29年4月29日
アイーナ・岩手県民情報交流センター(盛岡市)
参加者: 136名, 講演題数: 8題
平成29年度植物感染生理談話会:
平成29年7月27~29日
伊豆熱川温泉熱川ハイッ (伊豆市)
参加者: 75名, 講演題数: 10題, ポスター発表:
32題
第13回植物病害診断教育プログラム:
平成29年9月11日~9月15日
佐賀大学農学部本館 生物学実験室(佐賀市)
参加者: 23名, 講師: 14名
EBC研究会ワークショップ2017:
平成29年9月15日
東京大学農学部(文京区)
参加者: 100名, 講演題数: 8題
第11回植物病害診断研究会:
平成29年11月15~16日
十勝農協連ビル(帯広市)
参加者: 117名, 講演題数: 8題
- (8) 名誉会員の推挙
第1回評議員会で白石友紀氏を推挙することが決定された。
- (9) 永年会員の推挙
第1回評議員会で次の方を推挙することが決定された(ABC順).
家城洋之氏, 要 司氏, 宮島邦之氏, 森田 昭氏, 本吉總男氏
- (10) 平成30年度学会賞
第1回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された(ABC順).
近藤則夫氏 「アズキの土壌伝染性病害を引き起こす複数種病原の生態と病原性分化に関する研究」
桑田 茂氏 「植物ウイルスの病原性変異機構に関する研究」
高松 進氏 「うどんこ病菌の進化および分類同定に関する研究」
- (11) 平成30年度学術奨励賞
第1回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された(ABC順).
甲把理恵氏 「園芸作物病害の総合的防除モデルの構築に関する研究」
宮下脩平氏 「植物RNAウイルスの複製と進化機構に関する研究」
八重樫元氏 「宿主に永続感染する果樹ウイルスおよ

- び菌類ウイルスのサイレンシング回避戦略に関する研究」
- (12) 平成 30 年度論文賞
第 1 回評議員会で次の 2 件に授賞することが決定された (掲載順).
Kanakou Inoue, Harumasa Kitaoka, Pyoyun Park, Kenichi Ikeda.
Novel aspects of hydrophobins in wheat isolate of *Magnaporthe oryzae*: Mpg1, but not Mhp1, is essential for adhesion and pathogenicity.
Journal of General Plant Pathology 82(1): 18–28 (2016)
- Kazumi Takao, Yasunori Akagi, Takashi Tsuge, Yoshiaki Harimoto, Mikihiro Yamamoto, Motoichiro Kodama.
The global regulator LaeA controls biosynthesis of host-specific toxins, pathogenicity and development of *Alternaria alternata* pathotypes.
Journal of General Plant Pathology 82(3): 121–131 (2016)
- (13) 平成 29 年度学生優秀発表賞
平成 29 年度大会で学生優秀発表賞に 13 名を選考した.
- (14) 平成 29 年度日本農学進歩賞, 日本学術振興会賞等の受賞候補者推薦
日本植物病理学会賞授賞規程に準じて、各受賞候補者を推薦した.
- (15) 平成 29 年度関連学会等の受賞者
以下の会員が受賞した.
平成 29 年度 (第 16 回) 日本農学進歩賞
石橋和大氏 「ウイルスに対する植物の抵抗性機構に関する研究」
平成 29 年度 (第 14 回) 日本学術振興会賞
志村華子氏 「植物ウイルスの病徴誘導における RNA サイレンシングの関与とサイレンシング制御による抗ウイルス剤の探索」
- (16) 平成 30 年度副会長選挙
平成 29 年 10 月施行 (開票は 11 月 9 日), 柘植尚志氏が選出された.

2. 平成29年度会計報告

(1) 一般会計収支計算書(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	20,864,000	20,970,562	△106,562
正会員会費収入	12,240,000	12,515,000	△275,000
学生会員会費収入	1,470,000	1,334,000	136,000
学部生会員会費収入	30,000	22,000	8,000
外国会員会費収入	174,000	149,562	24,438
準会員会費収入	1,800,000	1,800,000	0
賛助会員会費収入	5,150,000	5,150,000	0
会報刊行収入	8,160,000	7,375,359	784,641
頒布収入	2,980,000	2,728,800	251,200
広告料収入	180,000	171,000	9,000
著者負担金収入	5,000,000	4,475,559	524,441
事業収入	16,400,000	16,659,532	△259,532
大会運営収入	9,500,000	10,511,003	△1,011,003
部会収入	2,800,000	2,182,710	617,290
談話会・研究会収入	3,500,000	3,195,818	304,182
教育プログラム収入	600,000	770,001	△170,001
研究成果公開促進費収入	4,100,000	4,100,000	0
雑収入	160,000	131,368	28,632
預金利息収入	10,000	4,062	5,938
雑収入	150,000	127,306	22,694
事業活動収入計	49,684,000	49,236,821	447,179
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	20,500,000	18,251,530	2,248,470
印刷製本費支出	15,500,000	14,645,178	854,822
編集費支出	5,000,000	3,606,352	1,393,648
事業支出	19,000,000	18,000,825	999,175
大会支出	10,500,000	11,264,047	△764,047
部会支出	3,500,000	2,733,900	766,100
談話会・研究会支出	4,000,000	3,386,181	613,819
教育プログラム支出	1,000,000	616,697	383,303
学術奨励関係費支出	750,000	743,040	6,960
国際学術交流費支出	250,000	766,611	△516,611
情報電子化費支出	1,230,000	1,189,342	40,658
HP充実費	530,000	525,142	4,858
情報維持費	700,000	664,200	35,800
男女共同参画支援費	200,000	70,740	129,260

負担金支出	679,000	379,850	299,150
男女共同参画学協会連絡会負担金支出	5,000	5,000	0
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
日本農学会負担金支出	124,000	124,850	△ 850
植物保護科学連合負担金支出	50,000	50,000	0
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金出	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP) 負担金支出	300,000	0	300,000
事業運営費支出	2,550,000	2,354,657	195,343
会議費支出	800,000	760,417	39,583
旅費交通費支出	1,600,000	1,479,640	120,360
各種委員会関係費支出	150,000	114,600	35,400
管理費支出	4,920,000	4,810,476	109,524
通信運搬費支出	450,000	365,824	84,176
消耗品費支出	140,000	26,731	113,269
事務管理費支出	3,190,000	3,190,000	0
印刷費支出	180,000	116,640	63,360
外部監査管理費	160,000	151,874	8,126
雑支出	800,000	959,407	△ 159,407
事業活動支出計	50,079,000	46,567,071	3,511,929
事業活動収支差額	△ 395,000	2,669,750	△ 3,064,750
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	2,000,000	2,000,000	0
学術事業安定基金取崩収入	2,000,000	2,000,000	0
投資活動収入計	2,000,000	2,000,000	0
2. 投資活動支出			
固定資産取得支出	0	242,784	△ 242,784
投資活動支出計	0	242,784	△ 242,784
投資活動収支差額	2,000,000	1,757,216	242,784
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	1,605,000	4,426,966	△ 2,821,966
前期繰越収支差額	3,757,968	3,757,968	0
次期繰越収支差額	5,362,968	8,184,934	△ 2,821,966

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金・未払金、仮払金・前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	10,409,816	14,435,902
未 収 金	1,599,870	1,702,000
仮 払 金	1,000,000	1,000,000
合 計	13,009,686	17,137,902
未 払 金	531,718	70,000
前 受 金	8,719,000	8,882,968
預 り 金	1,000	0
合 計	9,251,718	8,952,968
次期繰越収支差額	3,757,968	8,184,934

(2) 貸借対照表 (平成29年12月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,435,902	10,409,816	4,026,086
現金	226,130	177,215	48,915
部会等現金	90,607	17,283	73,324
普通預金	9,090,030	5,347,913	3,742,117
部会等預金	3,943,000	3,657,877	285,123
振替貯金	1,086,135	1,209,528	△ 123,393
未収金	1,702,000	1,599,870	102,130
仮払金	1,000,000	1,000,000	0
流動資産合計	17,137,902	13,009,686	4,128,216
2. 固定資産			
特定資産			
学術事業安定化基金	20,021,662	22,021,662	△ 2,000,000
学術奨励基金	17,027,595	17,027,595	0
国際学術交流基金	9,649,267	9,649,267	0
特定資産合計	46,698,524	48,698,524	△ 2,000,000
その他固定資産			
什器備品	217,494	0	217,494
その他固定資産合計	217,494	0	217,494
固定資産合計	46,916,018	48,698,524	△ 1,782,506
資産合計	64,053,920	61,708,210	2,345,710

II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	70,000	531,718	△ 461,718
前受金	8,882,968	8,719,000	163,968
預り金	0	1,000	△ 1,000
流動負債合計	8,952,968	9,251,718	△ 298,750
負債合計	8,952,968	9,251,718	△ 298,750
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	55,100,952	52,456,492	2,644,460
正味財産合計	55,100,952	52,456,492	2,644,460
負債及び正味財産合計	64,053,920	61,708,210	2,345,710

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術事業安定化基金	22,021,662	0	2,000,000	20,021,662
学術奨励基金	17,027,595	0	0	17,027,595
国際学術交流基金	9,649,267	0	0	9,649,267
合 計	48,698,524	0	2,000,000	46,698,524

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術事業安定化基金	20,021,662	(0)	(20,021,662)	(0)
学術奨励基金	17,027,595	(0)	(17,027,595)	(0)
国際学術交流基金	9,649,267	(0)	(9,649,267)	(0)
合 計	46,698,524	(0)	(46,698,524)	(0)

(3) 正味財産増減計算書(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	20,970,562	21,051,021	△ 80,459
正会員会費	12,515,000	12,156,000	359,000
学生会員会費	1,334,000	1,466,000	△ 132,000
学部生会員会費	22,000	28,000	△ 6,000
外国会員会費	149,562	156,021	△ 6,459
準会員会費	1,800,000	1,845,000	△ 45,000
賛助会員会費	5,150,000	5,400,000	△ 250,000
会報刊行収益	7,375,359	8,031,138	△ 655,779
頒布収益	2,728,800	2,978,809	△ 250,009
広告料収益	171,000	171,000	0
著者負担金益	4,475,559	4,881,329	△ 405,770
事業収益	16,659,532	23,839,956	△ 7,180,424
大会運営収入	10,511,003	13,881,138	△ 3,370,135
部会収入	2,182,710	2,595,717	△ 413,007
談話会・研究会収入	3,195,818	6,439,097	△ 3,243,279
教育プログラム収入	770,001	924,004	△ 154,003
研究成果公開促進費収益	4,100,000	3,700,000	400,000
雑収益	131,368	124,921	6,447
預金利息	4,062	9,382	△ 5,320
雑収益	127,306	115,539	11,767
経常収益計	49,236,821	56,747,036	△ 7,510,215
(2) 経常費用			
会報刊行費	18,251,530	20,213,275	△ 1,961,745
印刷製本費	14,645,178	15,568,740	△ 923,562
編集費	3,606,352	4,644,535	△ 1,038,183
事業支出	18,000,825	25,057,211	△ 7,056,386
大会支出	11,264,047	13,743,786	△ 2,479,739
部会支出	2,733,900	3,309,591	△ 575,691
談話会・研究会支出	3,386,181	6,807,551	△ 3,421,370
教育プログラム支出	616,697	1,196,283	△ 579,586
学術奨励関係費	743,040	720,750	22,290
国際学術交流費	766,611	0	766,611
情報電子化費	1,189,342	897,342	292,000
HP充実費	525,142	525,000	142
情報維持費	664,200	372,342	291,858
男女共同参画支援費	70,740	54,418	16,322

負担金	379,850	1,446,839	△ 1,066,989
男女共同参画学協会連絡会負担金	5,000	5,000	0
JABEE 負担金	50,000	50,000	0
日本農学会負担金	124,850	124,000	850
植物保護科学連合負担金	50,000	50,000	0
日本微生物学連盟負担金	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPPS) 負担金	0	1,067,839	△ 1,067,839
事業運営費	2,354,657	2,501,520	△ 146,863
会議費	760,417	786,450	△ 26,033
旅費交通費	1,479,640	1,572,570	△ 92,930
各種委員会関係費	114,600	142,500	△ 27,900
管理費	4,835,766	4,925,028	△ 89,262
通信運搬費	365,824	449,078	△ 83,254
消耗品費	26,731	115,093	△ 88,362
事務管理費	3,190,000	3,177,000	13,000
減価償却費	25,290	0	25,290
印刷費	116,640	137,916	△ 21,276
外部会計監査費	151,874	151,874	0
雑費	959,407	894,067	65,340
経常費用計	46,592,361	55,816,383	△ 9,224,022
評価損益等調整前当期経常増減額	2,644,460	930,653	1,713,807
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,644,460	930,653	1,713,807
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,644,460	930,653	1,713,807
一般正味財産期首残高	52,456,492	51,525,839	930,653
一般正味財産期末残高	55,100,952	52,456,492	2,644,460
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	55,100,952	52,456,492	2,644,460

(4) 財産目録 (平成29年12月31日現在)

			(単位：円)
貸借対照表科目		場所・物量等	金額
(流動資産)			
現金 預金		手元保管	316,737
		普通預金	9,090,030
		三井住友銀行白山支店	2,647,593
		三菱東京UFJ銀行駒込支店	2,405,876
		ジャパンネット銀行	2,465,985
		SMBC信託銀行	1,567,113
		三菱東京UFJ銀行(編集事務局)	3,463
		部会等預金	3,943,000
		振替貯金	1,086,135
		未収金	
仮払金		1,000,000	
総会・大会		1,000,000	
流動資産合計			17,137,902
(固定資産)			
特定資産			
学術事業安定化基金		三井住友銀行白山支店	20,021,662
		三菱東京UFJ銀行定期預金	1,000,000
		三井住友銀行白山支店定期	16,964,269
		三井住友銀行白山支店定期	51,393
		ジャパンネット銀行定期	2,006,000
		学術奨励基金	17,027,595
		三井住友銀行白山支店定期	17,027,595
		国際学術交流基金	9,649,267
		三井住友銀行白山支店定期	8,446,584
		ジャパンネット銀行定期	1,202,683
その他固定資産			
什器備品		217,494	
固定資産合計			46,916,018
資産合計			64,053,920
(流動負債)			
未払金 前受金 正会員 学生会員 学部生会員 外国会員			70,000
			8,882,968
			8,405,000
			405,000
			7,000
			65,968
流動負債合計			8,952,968
負債合計			8,952,968
正味財産			55,100,952

3. 平成 29 年度会計監査報告

平成 29 年度日本植物病理学会収支決算について、平成 30 年 2 月 5 日に岡田事務所 岡田 茂公認会計士の監査を受け、決算書類が「我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、日本植物病理学会の平成 29 年 12 月 31 日をもって終了する会計年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」との監査報告書を受けました。その後、学会会計監査の結果、収支決算が確実なることを確認しました。

平成 30 年 2 月 26 日

会計監査

濱 本 宏 (印)
夏 秋 啓 子 (印)
根 岸 寛 光 (印)

4. 平成 29 年度学会報編集報告

項 目	ページ数											
	JGPP (英文誌)							日植病報 (和文誌)				
	1号 1月	2号 3月	3号 5月	4号 7月	5号 9月	6号 11月	計	1号 2月	2号 5月	3号 8月	4号 11月	計
[ページ数内]												
総説	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
テクニク	6 (1)	—	—	8 (1)	—	—	14 (2)	—	—	—	—	—
原著論文	27 (3)	47 (5)	55 (6)	58 (6)	39 (4)	46 (5)	272 (29)	19 (2)	15 (2)	15 (1)	6 (1)	55 (6)
短報	22 (3)	9 (2)	9 (2)	9 (2)	17 (3)	15 (3)	81 (15)	—	—	7 (1)	—	7 (1)
病害短信	—	8 (2)	4 (1)	9 (2)	8 (2)	12 (3)	41 (10)	—	5 (1)	—	—	5 (1)
論文総ページ	55 (7)	64 (9)	68 (9)	84 (11)	64 (9)	73 (11)	408 (56)	19 (2)	20 (3)	22 (2)	6 (1)	67 (8)
講演要旨 (会長・受賞者)	—	—	—	—	—	21 (6)	21 (6)	—	—	19 (7)	—	19
講演要旨 (平成 28 年度大会)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88	—	88
講演要旨 (平成 27 年度部会)	—	—	—	—	—	—	—	58	—	—	—	58
本会記事	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	17	18
その他	1	0	0	0	0	2	3	9	9	5	9	32
計	56 (7)	64 (9)	68 (9)	84 (11)	64 (9)	96 (17)	432 (62)	86 (2)	30 (3)	134 (9)	32 (2)	282 (16)
[ページ数外]												
大会案内・お知らせ	—	—	—	—	—	—	—	6	2	8	8	24
会則・規定	—	—	—	—	—	—	—	17	—	—	—	17
学会ニュース	—	—	—	—	—	—	—	4	4	15	5	28
その他	—	—	—	—	—	—	—	11	12	13	19	55
計	0	0	0	0	0	0	0	38	18	36	32	124
[総計]	56	64	68	84	64	96	432	124	48	170	64	406

* () 内は論文数

II-2. 平成30年度会務案

1. 行事案

- (1) 学会報(英文誌第84巻1~6号, 和文誌第84巻1~4号)を発行する.
- (2) 大会, 部会, 談話会, 研究会等を開催する.
 - 1) 大会:平成30年3月25~27日 神戸国際会議場(神戸市)
 - 2) 北海道部会:平成30年10月18~19日 北海道大学(札幌市)
 - 3) 東北部会:平成30年9月27~28日 山形テルサ(山形市)
 - 4) 関東部会:平成30年9月27~28日 東京大学弥生講堂(文京区)
 - 5) 関西部会:平成30年9月27~28日 山口大学吉田キャンパス(山口市)
 - 6) 九州部会:平成30年11月7日 宮崎市民プラザ(宮崎市)
 - 7) 第18回植物病原菌類談話会:平成30年3月27日 神戸国際会議場(神戸市)
 - 8) 第15回バイオコントロール研究会:平成30年3月28日 神戸大学農学部(神戸市)
 - 9) 第13回植物ウイルス病研究会:平成30年3月28日 神戸大学滝川記念学術交流会館(神戸市)
 - 10) 第28回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム:平成30年

- 3月28日 神戸大学農学部(神戸市)
- 11) 第53回植物感染生理談話会:平成30年8月21~23日 高知大学農林海洋科学部(南国市)
- 12) 第28回植物細菌病談話会:平成30年8月23~24日 高知大学農林海洋科学部(南国市)
- 13) 第14回植物病害診断教育プログラム:平成30年8月27~31日 北海道大学・北海道農業研究センター(札幌市)
- 14) EBC研究会ワークショップ2018(第14回):平成30年9月 東京大学農学部(文京区)
- 15) 第12回植物病害診断研究会:平成30年11月6日 宮崎市民プラザ(宮崎市)
- 16) 第29回土壌伝染病談話会:平成30年10月17日 北海道大学農学部(札幌市)
- (3) 学会賞, 学術奨励賞, 論文賞等の選考を行う.
- (4) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う.
- (5) 名誉会員, 永年会員の推挙を行う.
- (6) 平成31年度副会長の選挙を行う.
- (7) 日本農学進歩賞, 日本学術振興会賞等の受賞候補者の推薦を行う.
- (8) その他
- ※平成31年度大会:平成31年3月18~20日 つくば国際会議場(つくば市)

2. 平成30年度一般会計予算書(案)(平成30年1月1日から平成30年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	21,135,000	20,864,000	271,000
正会員会費収入	12,600,000	12,240,000	360,000
学生会員会費収入	1,400,000	1,470,000	△70,000
学部生会員会費収入	30,000	30,000	0
外国会員会費収入	160,000	174,000	△14,000
準会員会費収入	1,695,000	1,800,000	△105,000
賛助会員会費収入	5,250,000	5,150,000	100,000
会報刊行収入	7,340,000	8,160,000	△820,000
頒布収入	2,730,000	2,980,000	△250,000
広告料収入	110,000	180,000	△70,000
著者負担金収入	4,500,000	5,000,000	△500,000
事業収入	15,334,000	16,400,000	△1,066,000
大会運営収入	10,000,000	9,500,000	500,000

部会収入	1,584,000	2,800,000	△ 1,216,000
談話会・研究会収入	3,050,000	3,500,000	△ 450,000
教育プログラム収入	700,000	600,000	100,000
研究成果公開促進費収入	3,600,000	4,100,000	△ 500,000
雑収入	104,000	160,000	△ 56,000
預金利息収入	4,000	10,000	△ 6,000
雑収入	100,000	150,000	△ 50,000
事業活動収入計	47,513,000	49,684,000	△ 2,171,000
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	15,000,000	20,500,000	△ 5,500,000
印刷製本費支出	11,000,000	15,500,000	△ 4,500,000
編集費支出	4,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
事業支出	17,750,000	19,000,000	△ 1,250,000
大会支出	10,000,000	10,500,000	△ 500,000
部会支出	2,750,000	3,500,000	△ 750,000
談話会・研究会支出	4,300,000	4,000,000	300,000
教育プログラム支出	700,000	1,000,000	△ 300,000
学術奨励関係費支出	750,000	750,000	0
国際学術交流費支出	300,000	250,000	50,000
情報電子化費支出	850,000	1,230,000	△ 380,000
HP 充実費	450,000	530,000	△ 80,000
情報維持費	400,000	700,000	△ 300,000
男女共同参画支援費	200,000	200,000	0
負担金支出	980,000	679,000	301,000
男女共同参画学協会連絡会負担金支出	5,000	5,000	0
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
日本農学会負担金支出	125,000	124,000	1,000
植物保護科学連合負担金支出	50,000	50,000	0
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金出	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP) 負担金支出	600,000	300,000	300,000
事業運営費支出	2,775,000	2,550,000	225,000
会議費支出	800,000	800,000	0
旅費交通費支出	1,500,000	1,600,000	△ 100,000
各種委員会関係費支出	475,000	150,000	325,000
管理費支出	4,777,000	4,920,000	△ 143,000
通信運搬費支出	400,000	450,000	△ 50,000
消耗品費支出	50,000	140,000	△ 90,000
事務管理費支出	3,217,000	3,190,000	27,000
印刷費支出	150,000	180,000	△ 30,000
外部監査管理費	160,000	160,000	0
法人化関連費	200,000	0	200,000

雑支出	600,000	800,000	△ 200,000
ACPP2020 開催準備関連費	500,000	0	500,000
事業活動支出計	43,882,000	50,079,000	△ 6,197,000
事業活動収支差額	3,631,000	△ 395,000	4,026,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
学術事業安定基金取崩収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
投資活動収入計	0	2,000,000	△ 2,000,000
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	3,000,000	0	3,000,000
ACPP2020 開催基金取得支出	3,000,000	0	3,000,000
投資活動支出計	3,000,000	0	3,000,000
投資活動収支差額	△ 3,000,000	2,000,000	△ 5,000,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	631,000	1,605,000	△ 974,000
前期繰越収支差額	8,184,934	3,757,968	4,426,966
次期繰越収支差額	8,815,934	5,362,968	3,452,966

3. 学会報編集計画案

(1) 編集機関

学会誌第84巻の編集は、英文誌（Journal of General Plant Pathology）、和文誌（日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology）とも下記のように香川大学にて行う。

編集事務局：香川大学農学部

編集委員長：秋光和也（香川大学）

副委員長：市村和也（香川大学）

編集幹事長：五味剣二（香川大学）

印刷：英文誌 シュプリンガー・ジャパン（株）
和文誌 中西印刷（株）

発行日：英文誌 1号1月，2号3月，3号5月，
4号7月，5号9月，6号11月
和文誌 1号2月，2号5月，3号8月，
4号11月

(2) 投稿要領

原稿は投稿規定・細則に従って作成し、本文および表・図の電子ファイル、必要事項を記入した和文投稿票ファイル*を付して、編集委員会（jgpp-jjp@ag.kagawa-u.ac.jp）あてに電子メールで送付すること。

(*投稿票ファイルは http://www.ppsj.org/journal-submission_procedure.html よりダウンロードすること。)

英文誌については、ウェブサイト <https://www.>

editorialmanager.com/jgpp/ にアクセスして投稿すること。

平成30年度役員および委員

会長 久保康之

副会長 柘植尚志

評議員（◎常任）

北海道地区 ◎眞岡哲夫 近藤則夫 増田 税

東北地区 ◎高橋英樹 佐野輝男 吉川信幸
古屋廣光

北関東地区 ◎津田新哉 ◎夏秋知英 中島 隆
青木孝之 吉田重信 富田恭範
渡邊 健

南関東地区 ◎有江 力 ◎平塚和之 夏秋啓子
桑田 茂 北 宜裕 宇垣正志
濱本 宏 根岸寛光 渡辺京子
白石俊昌

中部地区 ◎瀧川雄一 川北一人 景山幸二
柘植尚志 守川俊幸 高松 進

近畿地区 ◎高野義孝 久保康之 三瀬和之
土佐幸雄 中屋敷均

中国・四国地区 ◎一瀬勇規 児玉基一朗 曳地康史
秋光和也 小林括平 鈴木信弘

九州地区 ◎岩井 久 大島一里 古屋成人

- 編集委員長 竹下 稔
 庶務幹事長 秋光和也
 会長指名 鈴木文彦
 金山晋治 兼松聡子 窪田昌春
 三富正明 高垣真喜一 月星隆雄
 会計監査 根岸寛光 濱本 宏 夏秋啓子
 原著編集委員 (◎委員長, ○副委員長)
 ◎秋光和也 ○市村和也
 Ahn, J.H. Bogdanove, A.J.
 Briggs, S. Day, B. Genin, S.
 曳地康史 石川雅之 景山幸二
 川口 章 木場章範 小林括平
 児玉基一朗 増中 章 三瀬和之
 中屋敷均 西澤洋子 大島研郎
 Panaccione, D.G. 齋藤宏昌
 須賀晴久 鈴木信弘 高野義孝
 土佐幸雄 月星隆雄 津下誠治
 Wolpert, T.J. Yun, S.-H.
 賞選考委員 (◎委員長)
 ◎久保康之 秋光和也 曳地康史
 岩井 久 夏秋知英 佐野輝男
 柘植尚志
 功績者推薦委員 (◎委員長)
 ◎桑田 茂 久保康之 夏秋知英
 津田新哉
 選挙管理委員 (◎委員長)
 ◎有江 力 平塚和之 北 宜裕
 病名委員 (◎委員長)
 ◎窪田昌春 青木孝之 藤 晋一
 井上康宏 伊藤陽子 岩井 久
 門田育生 小坂橋基雄 近藤則夫
 松下範久 望月知史 森脇丈治
 夏秋啓子 佐橋憲生 笹谷孝英
 佐藤 衛 佐藤豊三 菅原 敬
 須崎浩一 竹内 純 瀧川雄一
 田中文夫 月星隆雄 植原健人
 幹 事
 庶務幹事長 鈴木文彦
 庶務副幹事長 大島研郎
 庶務幹事 染谷信孝 久保田健嗣
 会計幹事 西川尚志
 副会計幹事 石賀康博
 編集幹事長 五味剣二
 編集幹事 藤川貴史 古谷綾子 池田健一
 石橋和大 生咲 巖 望月 進
 森田剛成 能年義輝 佐々木信光
 辻 元人 上野 誠 八丈野孝
 専門委員会 (◎委員長)
 学会ニュース編集委員会
 ◎藤田佳克 大島研郎 鈴木文彦
 池田健太郎 染谷信孝
 植物ウイルス分類委員会
 ◎鈴木信弘 藤 晋一 畑谷達児
 岩波 徹 近藤秀樹 望月知史
 大島一里 津田新哉 山次康幸
 吉川信幸
 国際化対応委員会
 ◎夏秋啓子 濱本 宏 曳地康史
 平塚和之 近藤則夫 久保康之
 夏秋知英 佐野輝男 柘植尚志
 吉川信幸
 将来問題検討委員会
 ◎久保康之 古谷綾子 平塚和之
 前島健作 夏秋知英 柘植尚志
 教育プログラム推進委員会
 ◎柘植尚志 一瀬勇規 近藤則夫
 大島一里 染谷信孝
 技術士対応委員会
 ◎濱本 宏 藤川貴史 石賀康博
 大島研郎 白石俊昌 鈴木文彦
 山次康幸
 5学会技術士育成推進委員会
 ◎濱本 宏 石賀康博 中保一浩
 山次康幸
 JABEE 対応委員会
 ◎濱本 宏 有江 力 岩井 久
 増田 税 夏秋知英 根岸寛光
 大里修一 大島一里 宍戸雅宏
 高橋英樹 瀧川雄一 土佐幸雄
 豊田和弘
 男女共同参画学協会連絡会
 ◎夏秋啓子 兼松聡子
 部会長
 北海道部会長 増田 税
 東北部会長 中村茂雄
 関東部会長 宇垣正志
 関西部会長 土佐幸雄
 九州部会長 吉松英明

日本学術会議・日本農学会・国際学会等の委員

連携会員 夏秋啓子
 植物保護科学連合運営委員会 石賀康博 夏秋啓子
 鈴木文彦
 日本農学会 評議員 久保康之 柘植尚志
 運営委員 鈴木文彦
 財団法人農学会 農学技術者教育推進委員会
 濱本 宏

国際微生物連合 (IUMS)

対応委員 一瀬勇規
 プログラム委員 宍戸雅宏
 ウイルス分類委員 鈴木信弘
 細菌命名委員 瀧川雄一
 国際植物保護会議 委員 有江 力

国際植物病理学会 (ISPP)

Council Members 秋光和也 久保康之 夏秋知英
 高橋英樹 一瀬勇規

Correspondent for Newsletter 川北一人

Members of Committee

Bacteriology 一瀬勇規

Chemical Control

石井英夫

Epidemiology

大藤泰雄

Fusarium

青木孝之

Phytophthora

東條元昭

Rhizoctonia

荒川征夫

Soilborne Plant Pathogens

宍戸雅宏

Taxonomy of Plant Pathogenic Bacteria

瀧川雄一

アジア植物病理学会 (AASPP)

Vice President

久保康之

平成30年度大会運営委員会

大会委員長: 土佐幸雄

大会副委員長: 相野公孝

プログラム委員長: 中屋敷均

幹事長: 池田健一

運営委員: 岩本 豊 内橋嘉一 神頭武嗣 中馬いづみ

西口真嗣 前川和正 松浦克成 吉田健太郎

(50音順)

名誉会員および永年会員

名 誉 会 員

道家紀志	遠藤武雄	後藤正夫	日比忠明	平野和弥	本田雄一	堀野 修	飯田 格	稲葉忠興
加来久敏	加藤 肇	岸 國平	小林享夫	甲元啓介	小島 誠	久能 均	松山宣明	眞山滋志
野中福次	生越 明	奥 八郎	奥田誠一	大内成志	佐古宜道	四方英四郎	白石友紀	鈴木孝仁
高橋 壯	寺中理明	土崎常男	露無慎二	渡辺 實	山田昌雄	山口 昭	山中 達	米山勝美

永 年 会 員

荒井 啓	浅川 勝	舟山広治	濱屋悦次	原田幸雄	部田英雄	平塚利子	比留木忠治	堀 眞雄
堀尾英弘	一谷多喜郎	家城洋之	飯嶋 勉	池上八郎	井上成信	石島 嶺	祝迫親志	神澤克一
要 司	勝部利弘	菊本敏雄	木村俊夫	小林尚志	児玉不二雄	駒田 旦	越水幸男	久保 進
倉橋良雄	牧野 精	益子道生	松田安男	松本 勤	宮島邦之	森田 昭	本吉總男	長井雄治
内藤秀樹	根本正康	贄田裕行	西村典夫	野村幸彦	野津幹雄	大口富三	大橋祐子	大沢高志
大島俊市	太田舜三	齋藤 泉	酒井隆太郎	坂本 庵	柴田幸省	下村 徹	孫工弥寿雄	角名郁郎
周藤靖雄	但見明俊	高桑 亮	高野喜八郎	玉田哲男	丹田誠之助	富樫二郎	鳥山重光	土屋貞夫
宇田川晃	植松 勉	上杉康彦	渡邊恒雄	山口武夫	山本孝彗	横山佐太正	米山伸吾	吉村大三郎
吉野嶺一	善林六朗							

III. 会則・規程の改正

改正する事項について、概要を記し、関連する会則・規程を示した。条文の具体的な改正については、新旧対照表に記した。

基金設定・管理規程の改正

「100周年記念事業特別基金」は終了しており規程から削除。

2020年に日本で開催される第8回アジア植物病理学会議（Asian Conference of Plant Pathology, ACP2020）に備え「ACPP2020特別基金」を新設。

新 旧 対 照 表

改 訂 後	現 行
<p>基金設定・管理規程</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会則第22条第3項に規定する基金として、「学術事業安定化基金」、「学術奨励基金」、「国際学術交流基金」、および「<u>ACPP2020特別基金</u>」を設ける。 2. 設定した基金は、固定資産として管理するものとし、基金を取り崩して支出する場合は、評議員会で審議し、総会の議決による。 3. 学術事業安定化基金は、会則第3条に規定する学術事業を安定的に継続させることを目的とし、何らかの不慮の事態によって、当該事業を遂行することが困難となる場合に支出する。 4. 学術奨励基金は、会則第3条に定める主要な事業、および会則第2条の目的のために企画された学術振興活動を支えることを目的とする。 5. 国際学術交流基金は、会則第2条の目的に則り、植物病理学における学術研究の国際的な交流活動を推進することを目的とする。なお、本基金の英名を Japanese Phytopathological Society Fund for International Scientific Exchanges とする。 6. <u>ACPP2020特別基金</u>は、<u>ACPP2020開催</u>のために企画された活動を支えることを目的とする。 <p>付 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この規程は平成18年12月31日より施行し、一部改正は平成23年3月27日、平成24年3月28日、<u>平成30年3月25日</u>に行った。 2. この規程の一部改正は<u>平成30年3月25日</u>より施行する。 	<p>基金設定・管理規程</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会則第22条第3項に規定する基金として、「学術事業安定化基金」、「学術奨励基金」、「国際学術交流基金」、および「<u>100周年記念事業特別基金</u>」を設ける。 2. 設定した基金は、固定資産として管理するものとし、基金を取り崩して支出する場合は、評議員会で審議し、総会の議決による。 3. 学術事業安定化基金は、会則第3条に規定する学術事業を安定的に継続させることを目的とし、何らかの不慮の事態によって、当該事業を遂行することが困難となる場合に支出する。 4. 学術奨励基金は、会則第3条に定める主要な事業、および会則第2条の目的のために企画された学術振興活動を支えることを目的とする。 5. 国際学術交流基金は、会則第2条の目的に則り、植物病理学における学術研究の国際的な交流活動を推進することを目的とする。なお、本基金の英名を Japanese Phytopathological Society Fund for International Scientific Exchanges とする。 6. <u>100周年記念事業特別基金</u>は、<u>100周年記念事業の目的</u>のために企画された活動を支えることを目的とする。 <p>付 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この規程は平成18年12月31日より施行し、一部改正は平成23年3月27日、平成24年3月28日に行った。 2. この規程の一部改正は<u>平成24年3月28日</u>より施行する。

下線が変更点

IV. 平成30年度日本農学会評議員会議事要旨

日時：平成30年1月26日（金）10時～10時40分

場所：東京大学農学部3号館4階大会議室

出席者：

三輪睿太郎会長，會田勝美副会長，西澤直子副会長，土井元章/河鱈実之（園芸），新部昭夫（シス農（代）），福田健二（樹木医（代）），浅見忠男（植物調），白石則彦（森計），丹下 健（森立），堤 伸浩/奥本 裕（育種），三ツ井敏明/平尾和子（応糖），矢野栄二/松村正哉（応動昆），斎藤 豊（海水）山田隆一（国地開），池浦 弘（砂丘（代）），山岸順子（作物（代））/白岩立彦（作物（代）），朝岡 潔（蚕糸（代）），與語靖洋（雑草），高橋輝昌（芝草（代）），関崎 勉/桑原正貴（獣医），夏秋知英/久保康之（植病），中村太士（森林）/堀 靖人（森林（代）），佐藤秀一/良永知義（水産），明田定満（水産工（代）），野並 浩（生環工（代）），平田昌彦（草地），横張 信（造園），寺田文典（畜産）/柏崎直己（畜産（代）），美川智（動物遺（代）），犬伏和之（土肥）/木村 武（土肥（代）），西澤智康（土微（代）），岩崎直人（熱農），北野雅治（農気象），納口るり子（農経営），盛田清秀/坂爪浩史（農経），佐藤隆一郎/吉田 稔（農化），東條清秀（農作業（代）），三好秀人/夏目雅裕（農薬），菊地和弘（繁生（代）），中嶋康博（フード），前島勇治（ペドロ（代）），福島和彦/船田 良（木材），服部順昭（木加工），金子信博（有機農（代）），岩渕和則（農食工（代））/大下誠一（農食工），北村 豊（農施），町田武美（農情），久保成隆（農村工）/小泉 健（農村工（代）），星野 敏（農計），枚田邦弘（林経）および，勝間 進，嶺田拓也，齋藤継之，青木直大，北原克宣，塩出大輔，安永円理子各常任委員欠席委任状：

北田紀久雄（実農），高橋和昭（家禽），金子忠一（造園）
欠席者：稲山正弘（木質）

議長：三輪会長

評議員会成立に要する定足数を確認した後，三輪会長より挨拶，議事について説明があり議長として議事を進行した。

議事1. 平成29年度事業報告

勝間庶務担当常任委員より資料に基づき，平成29年度日本農学会概要，平成29年度日本農学会シンポジウム概要，平成28年度シンポジウム成果概要書出版，その他（共催・後援等）についてそれぞれ説明があり，審議の後，承認された。

議事2. 平成29年度収支報告

嶺田会計担当常任委員より資料に基づき，平成28年度収支計算書について説明があり，審議の後，承認された。

議事3. 平成29年度監査報告

丹下監査委員より，平成30年1月17日に平成29年度監査が実施され，実施事業，会計は適切に処理されていることを確認した旨の報告があった。審議の後，承認された。

議事4. その他報告事項

学術著作権協会石橋監事（日本農学会選出）から，学術著作権協会の現状について報告があった。

議事5. 一般社団法人設立について

勝間庶務担当常任委員より平成29年11月1日に一般社団法人が設立したことについて報告された。

議事6. 日本農学会から会員，資金移行について

勝間庶務担当常任委員より日本農学会から会員と資金移行がある件について改めて確認があった。

議事7. 任意団体日本農学会の解散について

任意団体日本農学会を解散した。

V. 一般社団法人日本農学会平成30年度定時総会社員総会議事録

1. 日時：平成30年1月26日 10時40分

2. 場所：東京大学農学部3号館4階会議室

3. 出席役員：

会長（代表理事） 三輪睿太郎，副会長（理事） 會田勝美・西澤直子，監事 丹下 健

4. 議長：会長（代表理事） 三輪睿太郎

5. 議事録作成者：会長（代表理事） 三輪睿太郎

6. 議事の経過の要領及びその結果

出席会員：議決権のある総会員数 50名

この議決権の総数 50個

出席会員数 47名

この議決権の総数 47個

出席会員：

（一社）園芸学会，システム農学会，樹木医会，植物化学調節学会，森林計画学会，森林立地学会，（一社）日本育種学会，（一社）日本応用糖質科学会，（一社）日本応用動物昆虫学会，日本海水学会，日本国際地域開発学会，日本砂丘学会，日本作物学会，（一社）日本蚕糸学会，日本雑草学会，日本芝草学会，（公社）日本獣医学会，日本植物病理学会，（一社）日本森林学会，（公社）日本水産学会，日本水産工学会，日本生物環境工学会，日本草地学会，（公社）日本造園学会，（公社）日本畜産学会，日本動物遺伝育種学会，（一社）日本土壌肥料学会，日本土壌微生物学会，日本熱帯農業学会，日本農業気象学会，日本農業経営学会，日本農業経済学会，（公社）日本農芸化学会，日本農作業学会，日本農薬学会，（公社）

日本繁殖生物学会, 日本フードシステム学会, 日本ペドロロジー学会, (一社)日本木材学会, (公社)日本木材加工技術協会, 日本有機農業学会, 農業食料工学会, 農業施設学会, 農業情報学会, (公社)農業農村工学会, 農村計画学会, 森林経済学会

欠席会員:

実践総合農学会, 日本家禽学会, 木質構造研究会

上記のとおり定足数に足る会員の出席があったので, 議長は定刻に開会を宣し, 下記のとおり議事に入った.

審議・報告事項

1. (報告事項) 一般社団法人日本農学会の構成会員

議長の求めに応じ, 庶務担当常任委員より一般社団法人日本農学会の設立時社員 3 名 (三輪睿太郎, 會田勝美, 西澤直子) は (同日) をもって退会済であり, 現在 50 学協会が会員となる報告があった.

2. 【第 1 号議案】運営細則の制定

議長の求めに応じ, 庶務担当常任委員より資料に基づき運営細則 (一般社団法人日本農学会定款施行規則, 日本農学会農学奨励規程 (日本農学賞授賞規程), 日本農学賞受賞者選考方法の細部について説明があり, 出席会員の異議なく承認された.

3. (報告事項) 常任委員の紹介

平成 30 年度の常任委員の紹介があった.

以下常任委員 (所属学会): 齊藤継之 ((一社)日本木材学会), 青木直大 (日本作物学会), 北原克宣 (日本農業経済学会), 高橋輝昌 (日本芝草学会), 塩出大輔 (日本水産工学会), 安永円理子 (日本生物環境工学会)

4. (報告事項) 平成 30 年度事業計画 (案)

議長の求めに応じ, 庶務担当常任委員から配布資料に基づき, 平成 30 年度の事業計画について報告があった.

5. (報告事項) 平成 30 年度収支計画 (案)

議長の求めに応じ, 会計担当常任委員から配布資料に基づき, 平成 30 年度の収支計画について報告があった.

6. (報告事項) 平成 31 年度の定時総会の日程

議長の求めに応じ, 庶務担当常任委員から配布資料に基づき来年以後の定時総会は 2 月に開催する旨報告があった

7. 【第 2 号議案】設立時役員 (設立時理事, 設立時監事) の辞任

議長の求めに応じ, 庶務担当委員から設立時理事 3 名 (三輪睿太郎, 會田勝美, 西澤直子), 設立時監事 2 名 (植田和光, 丹下 健) について辞任の意思が確認された旨説明があり, 出席会員の異議なく承認された.

8. 【第 3 号議案】役員 (理事・監事) の選挙

議長は, 理事ならびに監事の辞任に伴い, 後任の理事ならびに監事を選任したい旨を述べ, 定款施行規則第 11 条により推薦候補を示し, 会員での選挙を行った. 同第 12 条により理事 (会長候補者) として西澤直子氏, 理事 (副会長候補者) として大杉立氏と渡部終五氏, 監事として大山卓爾氏と與語靖洋氏を 1 名ごとの選任の審議を行った. その結果各候補を理事・監事としてそれぞれ満場一致で承認した.

(昼食および日本農学賞の選考会のため, 一時中断)

9. (報告事項) 日本農学賞受賞者および読売農学賞受賞候補者の決定

議長の求めに応じ, 庶務担当常任委員から, 日本農学会農学奨励規程 (日本農学賞授賞規程) にそって行われた選考会によって日本農学賞受賞が決定し, 8 名を読売農学賞の授賞候補者として推薦することが報告された.

以下受賞者 (推薦学協会): 杉本喜憲・国枝哲夫 (日本畜産学会), 田中道男 (日本生物環境工学会), 新山陽子 (日本農業経済学会), 二宮正士 (農業情報学会), 萩原篤志 (日本水産学会), 松井博和 (日本応用糖質科学会), 山本 (前田) 万里 (日本農芸化学会) 【五十音順】

以上をもってすべての議事を終了したので, 議長は 18 時 10 分閉会を宣した.

上記の決議を明確にするため, この議事録を作成し, 議長及び理事のうち総会で指名された者 1 名が, 記名押印または署名する.

平成 30 年 2 月 2 日一般社団法人日本農学会 平成 30 年度定時総会

議長・議事録作成者: 理事 三輪睿太郎, 理事 會田勝美